

# 虫歯がないのに入れ歯

## 増えている歯肉炎と歯周炎

永久歯は何本あるかご存じですか。答えは28本（親知らずは除く）。これらの歯が、食べ物をかみ切り、細かくすりつぶし、だ液と混ぜて消化しやすい状態にして、胃へ送りこむ働きをしています。また、言葉を発音するのになくてはならない大切な役割を果たしています。

しかし、これらの永久歯も、一般的にみると、だいたい70歳ぐらいで三分の二以上の20本がなくなってしまうのが普通です。こうした原因に虫歯などが挙げられますが、最近では、歯茎に炎症が起こる「歯

肉炎」や歯槽のうろうろなどの「歯周炎」が、歯の喪失に大きな影響があるといわれています。つまり、虫歯がないのに入れ歯のお世話になる人が最近増えてきているのです。では、「歯肉炎」や「歯周炎」の症状と原因をみてみましょう。

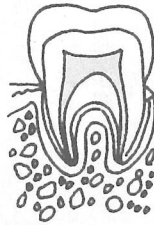
### 歯垢や歯石を取り除こう

歯肉炎は歯茎が赤くはれ、歯を磨いていると出血するといった症状がでます。これは歯茎に炎症が生じたために起こります。歯と歯の間に食べ物が入り込んでいたり、歯

### 歯槽膿漏の経過と進行状況

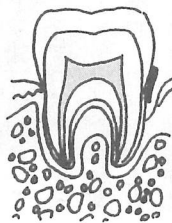
①健康な歯周組織（顎の骨・歯肉）

歯肉は引縮まっており、ハブラシをかけても出血がほとんどありません。



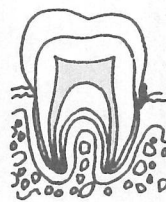
②軽度の歯槽膿漏

歯の表面に歯垢・歯石の沈着が見られます。歯肉に軽度の腫



③中等度の歯槽膿漏

顎の骨の吸収が進んできます。歯がグラグラしてきます。



④高度の歯槽膿漏

進行がさらに進むと、一見して歯が長くなったように見



⑤要抜歯状態

物を噛む機能はまったく失われ、自然に歯が抜け落ちるか、抜歯を必要とします。

脹、発赤、出血が見られます。

え、かなりの膿汁がみられ口臭もひどくなります。また、歯の動揺は激しく、良くかめません。

並びが悪かったりするのが原因です。また、「歯垢」などを放置したときにできる「歯石」も、歯肉炎を引き起こします。

歯周炎は、歯肉炎が進行したもので、歯茎の中にある歯根膜や歯槽骨といわれる部分が炎症を起こしたものをいいます。これが進行すると、歯と歯茎の間にすき間ができ、歯を支えている骨がなくなり、さらには歯がグラグラしはじめて

### 歯磨きと定期検診を習慣に

では、虫歯や歯肉炎、歯周炎を予防する3つのポイントをみてみましょう。

①毎食後に一本一本ていねいに歯を磨く。歯と歯茎の間は歯垢や歯石が付きやすいので、

入念にブラッシングを。②一年に一回は、定期的に歯科検診や歯石除去を受ける。歯垢や歯石を除去することによって、歯肉炎や歯周炎を予防できる。

③栄養のバランスがとれた食事をして、歯肉炎や歯周炎を引き起こす糖尿病や高血圧にならないよう気をつける。

さあ、今日から実践し、習慣づけていきたいものです。

## 無料歯科検診

山武郡市歯科医師会では、子どもから大人までを対象に次のとおり「無料歯科検診」を行います。病気の早期発見とその予防のために、ぜひ、お越しください。

■日時 平成2年7月12日(木) 午前10時～午後5時  
■場所 東金市サンピア内